



関川村

第137号

令和6年(2024)

11月15日発行

議会だより



こどもの居場所「関川る～む」
誰でも集える「る～むカフェ」弁当屋「福ふく」オープン

・ 会議報告	2 ページ
・ 決算審査特別委員会	4 ページ
・ 一般質問 4 名登壇	6 ページ
・ 議員活動報告	8 ページ
・ 議会モニターアンケート対応	9 ページ
・ 村民の声 さいとう ゆきこ 齋藤志子さん	10 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

会議報告

臨時会議と9月定例会議の内容を抜粋して報告いたします。

臨時会議

7月12日開催

■一般会計補正予算(第5号) 3800万円追加

○価格高騰緊急支援給付金事業費 3529万5千円

鈴木紀夫 今回給付金の対象となる、定額減税に漏れた方とは、どういった方か。

健康福祉課長 国の制度で一人当たり、所得税で3万円、住民税で1万円減税するといふもので、減税しきれなかった方に今回の給付金で賄うもの。

■関川小学校省エネ改修(照明器具LED化更新)工事請負契約の締結について

◇脱炭素に係る国の補助事

業を活用し、関川小学校の省エネ改修を行うもの。

- ・契約方法 一般競争入札
- ・契約者 (有)須貝電器
- ・契約金額 5830万円

■関川中学校省エネ改修(照明器具LED化更新)工事請負契約の締結について

◇提案理由の説明と契約方法は関川小学校省エネ改修と同様。



LED化工事

定例会議

9月12日開催

- ・契約者 旭電工㈱ 関川営業所
- ・契約金額 5808万円

◇9月定例会議は、報告1件、認定3件、議案6件、陳情1件、委員会発議2件、議員発議1件について審議した。

■一般会計補正予算(第6号) 9950万円追加

○コロナワクチン予防接種委託料 1565万2千円

鈴木紀夫 歳入の国庫補助金と歳出の委託料が違うのは何故か。

健康福祉課長 歳入の国庫補助金は、ワクチン代の約7割が対象金額。残りは個人負担となる。歳出には、その他、医師の技術料が含まれるが、その分を村が全額補助するもの。なお、対象者は村民の65才以上の方または、60才以上64才以下で重度の疾患のある方。

川崎哲也 村が補助対象とする根拠は。

健康福祉課長 ワクチン接種は予防接種法により村は実施しなければならない。また、村が補助した分については国の交付税の対象になる。村が補助しないとなると、個人負担が約7千円と高額となり、インフルエンザ予防接種等と比較しても差がある。また、近隣市町村も同様の対応をしている。

○脱炭素推進事業費補助金 2062万円

◇太陽光発電事業費補助を事業者に対して行うもの。

○過年度発生災害復旧事業工事請負費 3100万円

◇3工事の増工分と内須川地内農道復旧工事。

■下山川河川災害復旧工事変更請負契約の締結(桂地内)

- ・変更前の請負金額 6684万4千円
- ・変更後の請負金額 6340万1千円
- ・変更請負契約による減 344万3千円
- ・契約者 株山嘉土建

◇工事の変更により増減があるが、相殺の結果が減ったもの。



桂地内

議員表決結果報告

区分		件名	小澤 仁	加藤 つや子	川崎 哲也	近 敬志	近 壽太郎	加藤 和泰	高橋 正之	菅原 修	平田 広	鈴木 紀夫	結果
臨時	議案	関川小学校省エネ改修（照明器具LDE化更新）工事請負契約の締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	関川中学校省エネ改修（照明器具LDE化更新）工事請負契約の締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村一般会計補正予算（第5号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9月定例	認定	令和5年度関川村各会計の決算認定について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	認定
	認定	令和5年度関川村下水道事業会計の決算認定について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	認定
	認定	令和5年度関川村簡易水道事業会計の決算認定について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	認定
	議案	関川村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村一般会計補正予算（第6号）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村国民健康保険関川診療所特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	令和6年度関川村介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	議案	下山川河川災害復旧工事変更請負契約の締結について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	陳情	「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を推進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	採択
	発委案	私立高校の学費負担軽減と専任教員増推進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について（国）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	発委案	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を推進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について（県）	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	発議案	議員報酬の適正化を求める決議の提出について	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決

○ 賛成 × 反対 — 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

令和 5 年度 決算審査特別委員会

9 月定例会議において、令和 5 年度の決算審査が委員会付託され、委員長 鈴木紀夫、副委員長 川崎哲也、他委員 5 名と村長、政策監、各課長、班長出席のもと 9 月 12 日・13 日・17 日の 3 日間にわたり審査を行い、原案の通り認定されました。抜粋し、一部を紹介いたします。

歳出

総務費

近 壽 太 郎

防災無線基本構想策定を委託したが、今現在どんな状況か。

政策監

現状のシステムの調査も併せて行っていました。策定も終わり、実施設計中。今年度中に方針がでる。



防災タブレット

鈴木紀夫

災害派遣の職員への手当とは、能登半島被災地への村職員の派遣経費か。

人事財政班長

能登半島被災地への派遣経費ではなく、令和 5 年度中の、村に災害派遣された村外からの職員への手当。

近 敬 志

各種証明書のコンビニ交付率は。

住民環境班長

コンビニ交付対象の住民票は約 12 %、印鑑証明は約 10 %。90 %は窓口での発行。



マルチコピー機

民生費

平 田 広

老人クラブの補助金は、団体に一定以上の繰越金がある補助しないとしていたが、令和 5 年度は補助した理由は。

健康福祉課長

補助金に関する村の要綱に不備があり、5 年度は補助した。要綱を改正し、住民に説明していく。

衛生費

近 敬 志

不妊治療費助成について、助成後の対象者の追跡調査などは行っているか。

健康推進班長

追跡調査は行っていない。妊娠の届出が来てる方で、治療をされた方もおり、治療費助成は必要と考える。

農林水産業費

高橋正之

中山間地域等直接支払い交付金の内容は。

農林課長

傾斜地畦畔などがある耕作不利益地の維持管理等への補助で、村内の 11 組織に交付した。



中山間地域

土木費

川崎哲也

住宅改修の補助について、5 年度の実績は。

建設課長

50件です。景気対策事業として、利用者には毎年好評をいただいている。

災害復旧費

平田 広

※不用額が半分以上あるがなぜか。

農村整備班長

災害査定費予算を大きく取る必要があったが、査定直前に補助対象外となった案件もあり、不用額が大きくなりました。

※不用額：結果として使用する必要がなくなった額。



農地災害

教育費

鈴木 紀夫

文化財保護費減額の理由は。

教育課長

渡邊家の屋根の補修を令和5年度には実施しなかったため。

歳入

地方交付税

高橋 正之

地方交付税は減っているが、どう考えているか。

政策監

人口が減り、交付金も減っている。今後、人口規模に合わせた行政運営が必要であり、村の将来を村民と一緒に考えたい。

財産

菅原 修

株式会社わかぶな高原に貸付の未収金があるが、その対応は。

政策監

回収の見込みは薄い。登記簿上の法人が残っており、不能欠損処理をするにしても、タイミングの検討が必要。

※不能欠損処分：徴収の見込みがたたないため、自治体はその徴収を諦めること。

平田 広

土地貸付料が増額した要因は。

政策監

スキー場跡地の土地貸付料の日数計算の関係。

特別会計

国民健康保険事業

川崎 哲也

保険給付費減の要因は。医療を受けた人が少なかったのか。

福祉保険班長

国保被保険者が後期高齢者保険に移行したため、給付費が減った可能性がある。一人当たりになると給付費は増えている。



又スキー場跡地活用例

監査委員の意見

審査に付された一般会計、特別会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金の運用状況を示す書類は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。

今後も村の発展と健全財政の堅持に一層努力されるようお願いいたします。

脱炭素事業計画の進捗は

村 長 全身全霊で取り組む

村長 野立ての箇所は2箇所、関川中学校テニスコート脇に458.9キロワット、社会福祉センター敷地に25.8キロワット。社会福祉セン



ソーラーパネル

問 屋根置きソーラーパネルは、建物積雪荷重超過と構造上の問題で設置不能とのこと、野立ての箇所数と場所や規模について、社会福祉センターの駐車場への垂直パネルの設置についての検討結果を伺う。



たかはしまさゆき 高橋正之 議員



バイオマス発電イメージ図

問 村の本質バイオマス発電事業の進捗は。

村長 昨今の物価高騰もあり、事業の採算性について再度調査をしている。あわせて発電事業の主体となる事業体を現在模索しているという状況。

問 村上に木質バイオマス発電が計画されているが材などの心配はないか。

村長 材の奪い合いということにもなりかねないので危惧はしている。村が進める発電事業は、年間4千トンまでの材であれば供給可能。

問 村の木質バイオマス発電事業の進捗は。

村長 昨今の物価高騰もあり、事業の採算性について再度調査をしている。あわせて発電事業の主体となる事業体を現在模索しているという状況。

渡邊邸のバリアフリー化を

村 長 渡邊家保存会と議論を進める

村長 村では、新たな観光客の掘起しとリピーター確保の為、8月から地域おこし協力隊を採用し

問 道の駅周辺整備事業として渡邊邸裏の土地を購入したが、裏口をバリアフリー化し、障害のある方にも配慮した観光促進を図れないか伺う。

村長 裏門から館内に入るまでは段差や水路など障害物も多い。しかしながら、障害のある方も無い方も安心して観光して頂けるよう渡邊家保存会と村とで議論を前に進めていきたい。

問 村の重要文化財を利用した定期的なイベント開催で、積極的な集客が必要と考えるが所見を伺う。



かとうつばき 加藤つや子 議員



渡邊邸裏回

問 防災計画に記載の避難場所の空調整備は。

村長 現在、利用中の施設は整備されているが、廃校や小中学校は限定的であり、多額の経費を要するためまずは中学校への整備を検討する。

問 避難所の備蓄品の点検は。

村長 年に1度棚卸を行い、賞味期限切れの入替えをしている。

問 2次災害に備えた備品整備は。

政策監 順次揃える必要がある。

避難所の空調整備と備蓄点検

問 防災計画に記載の避難場所の空調整備は。

村長 現在、利用中の施設は整備されているが、廃校や小中学校は限定的であり、多額の経費を要するためまずは中学校への整備を検討する。

問 避難所の備蓄品の点検は。

村長 年に1度棚卸を行い、賞味期限切れの入替えをしている。

問 2次災害に備えた備品整備は。

政策監 順次揃える必要がある。

た。今後は商工会や温泉組合、関係団体と連携しながら集客に努めたい。

バス会社の撤退について対応を問う

村 長

公共交通と通学の足の確保に努める



問 通学の足としての役割も担っている村内のバス会社より全路線廃止の打診があったが、今後の村の対応と県に対する要請内容は。

村長 路線維持が難しく全線廃止もあり得るとの話があったが、現行を維持するための方策について検討協議中。県知事に対しては補助金制度のあり方について問題提起した。万一、全廃になったとしても通学に支障がないよう対応する。

熊出没対応

問 秋はクマの活動が活発になる。人身被害の危険性が高い場合の対応は。

村長 広報無線や防災メーラーに加え、巡回及び近



隣施設等への連絡を行い、猟友会へ追い払いや捕獲を要請する。また、警察、消防に協力を要請する。

農林課長 夜間や住宅地での発砲が必要の際は、その都度、警察と協議し対応する。

带状疱疹

ワクチン助成

問 带状疱疹の重症化で激痛に苦しむ方がいる。ワクチンが高額だが村で助成できないか。

村長 国が定期接種に位置づけると公費負担となるため、国の動向を注視し、国の判断を待った上で村の対応を考える。

住民向け出前講座開設を

村 長

講座開設の検討を進める



問 村民が村の施策や取組を学ぶ行政出前講座。村民の主體的な地域作り意識の向上のためには重要と考えるが。

村長 現在も村民の要望に応じ出張講座を行っているが要望は少ない。出前講座開設に向け、講座内容等を検討し、内容は広報で周知していく。

問 講座参加者の学びの意欲を高めるワークショップ形式も取り入れられないか。

※ワークショップとは参加者同士が学ぶ講座形式

村長 村の施策や取組を理解してもらうための講座としては考えていない。

農業地域計画と農家支援

問 地域農業の将来を検討し定める農業地域計画。その策定の進捗状況は。

村長 令和6年度末の完成を目指し、村内5地区で話し合いが進められている。稲刈り時期の後、再度協議し、計画を取りまとめる。

問 農家は祭や消防団など地域活動の担い手でもある。地域の維持発展のためにも村内農業の支援が必要では。

農林課長 県や国に対し、村の実情に合う施策や補助事業なども要望していく。



議員活動報告

自治功労者表彰を受賞

村政発展に寄与

8月1日に開催された関川村自治功労者表彰式において、伝信男前議員、平田広議員、菅原修議員が受賞しました。村議会議員として村政発展に寄与された功績によるものです。おめでとうございます。



平田議員

菅原議員

伝前議員

岩船東部線現地視察

森林を守り活用する

9月25日、森林基幹道岩船東部線開設事業促進議員連盟による現地視察が行われました。

村上市の門前工区にて、進捗状況の確認と、今後の予定の説明を受けました。



岩船林業振興祭

植えて育てて伐って使う

10月2日、第64回岩船林業振興祭が村上市総合文化会館にて開催されました。

現在、本格的な利用期を迎えており、「植えて、育てて、伐って、使う」といった循環利用を進めています。式典後、高根地内へ移動して花粉の出ない杉苗などを、地元小学生と一緒に記念植樹しました。



JR米坂線復旧関川期成同盟会 設立総会開催

国・県・JR東日本に働きかけ

10月7日、令和4年の8月豪雨災害で被災し、バスでの代行運転が続くJR米坂線の早期復旧を目指して「JR米坂線復旧関川期成同盟会」が設立されました。

の仁科洋一町長ら沿線の首長や議長も来賓として御出席いただきました。今後、復旧に向けて、中倉虎治会長のもと近隣沿線自治体と連携しながら取り組んでいきます。



総会には約80人が出席。加藤弘村長をはじめ、村上市の高橋邦芳市長、小国町



議会モニター『アンケート』

開かれた議会を目指しています

令和6年9月定例会議アンケート（主な意見を抜粋）

1. 議会を傍聴しての感想

- もう少し活発な議論を見たい。
- 一般質問の内容が、村民の意見や要望なら深く追求しても良いと思う。
- 議員の質問に対し答弁が適切なのか、議員の提案事項は届いているか確認するべき。
- 脱炭素について、再度詳しい質問をして貰いたい。

回答：議員の自己研鑽、答弁の追求と追跡、村民の不安解消と理解が得られるように対応します。

2. 議会に対する要望

- 定例会議の進行が、スムーズに進んでいる印象を受けた。
- 議会モニター会議は、議員との意見交換の場として時間に余裕をもって開催して欲しい。

回答：モニター会議は定期的に開催するよう努めます。

議会だより第136号アンケート（主な意見を抜粋）

1. 写真やレイアウトについて

- 今までの「議会だより」と違った親近感。村で起業し活躍する若人の笑顔が刺激になる。
- カラー写真が良い。営業車両の写真も、営業内容が加われば一層良かった。
- 村を盛り上げようと頑張っている若者の表紙、とても爽やかで良い写真。
- 写真一枚で全てイメージできて分かり易い。どこの方とか、詳しい記事が入ると良い。

回答：表紙の写真も含め、説明や内容を記事に取入れます。

2. 関心を持った記事は？

- 議会改革「関川村議会基本条例制定に向けて」
- 脱炭素調査特別委員会「視察」
- 一般質問「部活動の在り方」「全会議報告」「モニターアンケート」「村民の声」

3. 議会について得たい情報は？

- 議会だより作成の経緯・議会改革の内容・評決結果報告の反対議決や意見が知りたい。
- モニターが定例会議の一部だけでなく、他に参加できる場が必要である。

4. その他の意見

- 村民にとって身近な議会・議会だよりを目指して欲しい。
- 議会だよりの早期発行に努力して欲しい。
- 各記事に写真が入り分かり易く、読みやすく見やすくなった。

村民の声

強みと魅力が 「ぎゅっ」とつまった村

さいとう ゆきこ
齋藤 志子 さん (南赤谷)



私が関川村に来たのは今から11年前のことです。長女が2歳、次女が生まれる前のことで、自然のある場所です。子育てがしたいと思っていました。ポカポカあったかな春の陽気、初夏には緑でいっぱいになり、夜はいつせいにカエルの大合唱、夏はギラギラ太陽が照りつける永遠の夏休みのような光景、紅葉が胸にしみる美しい秋、山々が真っ白な芸術作品になる雪景色の冬、

一年中いつでもどこにいても飽きることがありません。また最近では、夫の職場でもある渡邊邸の中に入る機会があり、昔のままの姿が残った素晴らしい場所だと感じました。同じ村のなかでありますが、またどこよりも関川村を象徴するところでありながらも、まるで

別の世界に（ある意味そうなのですが）入ったような不思議な感覚で、またふらりと訪れたいなあと思います。以前、長女が作文で「学校の帰り道、近所の人がおかえりと言ってくれる」と書いていました。そんな風に声をかけ合い親しくしてもらえるのは本当に嬉しくありがたいことです。また関川村には村の方、外から来た方含め、ひとりひとりを挙げればきりがありません。素敵な方が多く、その分だけ様々な活動があつて、それ以外にもない魅力だと思います。私も週末は関川村の女の子バンド「ミンティーズ」の活動に親として参加したり、月1回ほどある子育てママの会「おむすびの会」に参加したりしています。このように小さなコミュニティがあり、どこかに属することができると、楽しみや安心感が繋がっています。他にも村民会館の図書室へ行くのも好きで、係の方とお話したり、静か

に過ごせたりできてとても落ち着く場所です。

私は今、8月にオープンした「関川るゝむ」を利用しています。子どもも大人も、学校へ行く子も行かない子も過ごすことのできる場ですが、ここでの活動を通じて同じ経験を持つ親として、村内外の不登校の子どもを持つ親御さんや支援者の方と繋がれたら嬉しいです。関川村は強みと魅力がぎゅっとなつた素晴らしいところなんです。このようなところで育つ子ども達をとっても幸せだなと思っています。



編集後記

農家にとっては正に実りの秋。昨年は高温障害でコメが白く濁り品質低下。今年は、中干期の長雨と高温、そして登熟期の早期倒伏で「くず米」が多く2年連続の不作。長年コメ作りをされている方も「こんなことは今までにない」とつぶやく。異常気象が生活に影をおとす。

今年の夏、コメ不足でスーパーの棚からコメが消えた「令和の米騒動」。おかげで米価が上昇。しかし、消費者にとっては頭の痛い話だ。

70年前、村発足時の農家数は今の2倍。米価は物価率を換算すると今の5倍。「農民は生かさず殺さず」江戸時代の悪しき言葉が思い浮かぶ。

(の)

議会広報常任委員会

委員長 加藤つや子
副委員長 加藤 和泰
委員 近 壽太郎
委員 鈴木 紀夫
委員 近 敬志
委員 川崎 哲也